

第2回就学時オリエンテーション

■1月25日(水)、今年度2回目の就学時オリエンテーションを開催しました■今回は、幼稚園でインフルエンザが流行していたこともあり47人全員はそろいませんでしたが、5年生のお兄さん・お姉さんと体育館などで遊びました■また、保護者の方は「やまがた子育て講座」として講師に荒木たか子先生をお迎えし、子育てや家庭教育の悩みなどをお互いに出し合いました■平成24年度の入学式は4月7日(土)午前中の予定です



寒さに負けず、書き初めに挑戦!

■一月十日(火)、三学期が始まった日に、全校児童が書き初めに挑戦しました■子どもたちは、これまでの練習の成果を発揮するために、たいへん寒い中にもかかわらず、それぞれの学年ごとの場所に分かれて、集中して書き上げました■子どもたち一人ひとりの作品は、各学級の廊下に掲示し、見ていただきました■これからも学校の様々な機会をとらえて、日本の伝統文化に親しむことや落着き集中して取り組むことを大事にしていきたいと思えます

2月の予定

3月の主な予定

日	曜	校内の予定	日	曜	校内の予定
18	土		1	木	安全の日・安全点検 なんぶタイム(最終)
19	日		2	金	ピアノ調律
20	月	職員会議・教育課程編成全体会議② 清掃班長会	5	月	ICT支援員来校日(~7日)
21	火		7	水	6年バイキング給食
22	水	感謝の会	9	金	児童謝恩会 PTA四役会
23	木	学校評議委員会 学びのルーム(最終) 6年カウンセリング開始 ALT	13	火	判定会
24	金	みなみおはなしかご(最終) バトンパスセレモニー チャレンジなわとび大会(児童会)	14	水	給食最終日
25	土		15	木	授業B日課4校時
26	日		16	金	授業B日課4校時
27	月	教育課程編成委員会④	17	土	授業3校時 修了式 通知表配付
28	火	なかよし給食③+なかよしタイム 代表委員会(最終)	18	日	卒業証書授与式
29	水	6年生ありがとうの会	20	火	<祝>春分の日
			29	木	離任式

南部っ子

平成23年度

★★★★★★★★★★★★★★★★

発行日 平成24年 2月20日

発行所 寒河江市立南部小学校

★★★★★★★★★★★★★★★★

<学校教育目標>

学び確かに 心豊かに 体健やかに

子ども一人ひとりが
家族のだから! 学校のだから!! 南部のだから!!!
。。。だから!

『おうちの人から、10秒間抱っこしてもらおうこと』

以前こんな宿題を出した中学年の担任がいました。その担任は「家族の絆」というテーマで授業を行い、その中で読んであげた絵本「あなたをずっとずっとあいしてる」(宮西達也著)に「だきしめました」という言葉がたくさん出てきたので宿題に出したもので、次の日、子ども達みんなが目を輝かせて抱っこされたことを話してくれたそうです。

また、ある講演会で「なるほどなあ」と思ったことがあります。「サザエさん」という漫画がありますが、その中で、息子の「カツオ」が父親の「波平」から怒られる場面がよく出てきます。30年前ですと頭をゴツンとされたものが、今は座布団に腕組みをして座っている波平がカツオに「なぜやったんだ」と理由を聴く場面が変わったというのです。

私は、この2つの事から「子育て」についての大切なことを改めて考えさせられました。「三つ子の魂百まで」と言いますが、記憶にない小さい時から母親や父親からぎゅっと抱きしめられてきた子どもはその安心感から優しい心で旅立つものですが、それは小学生や中学生になっても同じこと、一人ひとりの子ども達は、家族からだけでなく、学校の先生からも地域の大人からも抱きしめてもらうことを欲しているのではないかと思います。

大人が子ども達の行動に「あれ?」と思わず眉を寄せたくなるのがたくさんあります。でもそれには、その子どもなりの理由がある場合があります。頭ごなしにゴツンとやるのではなく、身勝手な理由も含めて、今の「波平」のように横に座って話を聴いてあげることが大切だと思います。それが私達大人の義務です。(ただ勝手に正当化している理由は、きちんと正したうえでですが。それを見極める力が親には必要です。)

書店にはたくさんの家庭向けの教育本、養育本が並んでいます。そういった本の内容に対して、「すべてそうだ! そうだ!」というべきものではありません。ただ、我々よりたくさんの方の事例をみてきた人達ですから参考になります。前書きや目次を立ち読みしただけでもいいですね。『話し方』シリーズの中の『子どもは「話し方」で9割変わる』の目次から、

- ① あいさつのできる子は人に可愛がられる
- ② 考える力を引き出す話し方で、魅力的な大人になる
- ③ 抜群に伸びる子の親はみな「聞き上手」
- ④ 許しがたい行為は怒涛のごとく叱ってよい
- ⑤ ものわकारのよさが逆効果になるとき
- ⑥ 言葉づかいは注意されつつ覚えるもの
- ⑦ 親のエゴが強いと子どもの真の姿がつかめない 等々

そんな事当たり前だと言うかもしれませんが、その当たり前がなかなか難しい。

(文責 教頭 田中)